

全国 AED 設置情報データベース／日本 AED マップ整備事業

広報動画制作業務委託 仕様書

1. 業務委託名

全国 AED 設置情報データベース／日本 AED マップ整備事業
広報動画制作業務委託

2. 事業の目的

全国 AED 設置情報データベース／日本 AED マップ整備事業を実施するにあたり、市民に本事業に対する社会的重要性の認識を広め、積極的な参加を促すための広報動画制作の優れた企業への業務委託を目的とする。

3. 委託期間

本事業における委託期間は、契約締結日から 2026 年 3 月 31 日までとし、受託者はこの契約期間内に委託された全業務を完了しなければならない。

4. 予算規模

本業務の予算は 7,000,000 円以内(税込)とする。ただし、使い切り予算ではない。

※予算額は、提案内容および審査結果により変動する可能性がある。

5. 公募期間

提案書の公募期間は、「10. 契約スケジュール」に示した通りである。

6. 委託内容

委託する対象は、下記に示した動画制作に必要な全ての工程である。

動画制作に当たっては、企画提案・構成・撮影・編集・委員会プレゼンテーション・修正・最終納品までの各段階で発注者と連携を図りながら完成させるものとする。

(1) 企画・構成

- 企画案・構成案の作成
- コンテ(絵コンテまたはテキストコンテ)の作成
- 発注者へのプレゼンテーションと修正(10. 契約スケジュールの審査期間内に実施する)

(2) 撮影・編集

- 撮影の実施(必要に応じてロケーション選定・撮影許可取得を含む)
- 編集(粗編集、本編集)
- テロップ、図解、CG、ナレーション、BGM 等の挿入
- ナレーションの収録(専門用語や公共性への配慮を含む)

(3) 字幕・調整

- 字幕(日本語)の作成・挿入
- 発注者による確認後の修正対応

(4) 監修対応

- 発注者が派遣する医学専門家による監修への対応
- 発注者へのプレゼンテーションおよび指摘事項への修正対応

(5) データ整理・納品

- 完成動画、短尺版、サムネイル画像の納品
- 編集前素材(白素材)の整理と納品
- バックアップデータの作成および提出

7. 成果品(納品物)

受託者は、本業務における以下の成果品を納品する。発注者が広報・啓発活動において自由に活用・二次利用できるよう、著作権処理・データ管理を行ったうえで納品する。なお、発注者と協議の上、工程表に基づく進捗を確認し、中間報告を適宜行うものとする。

(1) 本編動画(2本)

- 構成 A の場合:5 分前後の動画 2 本(各 MP4 形式)
- 構成 B の場合:5~10 分の動画 1 本、60 秒以内のショート動画 1 本(いずれも MP4 形式)

(2) 字幕付きバージョン

- 日本語字幕付き動画データ(各動画)

(3) SNS 対応素材

- サムネイル画像(YouTube、X などで活用できる静止画像)
- ショート動画(構成 B の短尺動画、または構成 A の再編集版)

(4) 編集前素材データ(白素材)

- 撮影した動画のオリジナル素材(編集前データ一式)
- ナレーション音声や BGM などの音源素材(使用許諾を得ておく)

(5) バックアップデータ一式

- 外部媒体(USB メモリ、HDD など)またはオンラインストレージ

(6) 納品形式

- すべてのデータは、発注者と協議のうえ決定した形式で納品する。
- オンライン納品の場合は、ダウンロード期限・管理方法について明記する。

(7) その他

- 動画には、メインタイトルの直前又は直後に JKA 補助事業関するロゴ等を表示する。
ロゴは委託契約締結後に提供する。

8. 受託者の選定

本業務の受託者は、公募型企画コンペ(プロポーザル方式)によりを選定する。応募者は以下に基づき、動画制作の提案書を提出する。

(1) 制作内容と本数(いずれかを選択)

- 構成 A:5 分前後の動画 2 本
- 構成 B:5~10 分の中尺動画 1 本 + 60 秒以内のショート動画 1 本

(2) テーマの設定

- 「全国 AED 設置情報データベース/日本 AED マップ整備事業」の目的(後述)に沿った内容とする。
- 企画内容に下記の視点を含めることが望ましい(すべてを含める必要はない)。
 - AED 設置情報の登録・整備の必要性
 - AED マップの統合による全国的な情報連携
 - 自治体・市民・消防・施設管理者による協働
 - 視聴者の「行動変容(登録・確認・活用)」につながるメッセージ

(3) 表現方法

- 応募者は、自由に表現手法(実写、アニメ、モーショングラフィック、インタビュー等)を用いて企画・提案できる。
- SNS や公共広報に適した伝わりやすい表現が望まれる。

(4) 提案書に含める項目

- 構成(A または B)の選択、選択の理由
- 各動画の企画意図・構成概要
- 想定される演出手法
- 制作スケジュール案(企画・制作・納品まで)
- 見積書(内訳明記、税抜・税込を併記)
- 類似イベント業務または過去の映像制作実績(映像リンクや資料添付)

(5) 医学監修・委員会対応について

- 医学監修は発注者側から専門家を派遣し助言する。
- コンテ完成時には発注者にプレゼンテーションを行い、その意見を反映して修正する。
- プレゼン実施・修正対応は、制作スケジュール内に含める。

(6) その他留意事項

- 提案内容は、発注者との協議のもと柔軟に調整可能な体制とする。
- 著作権・肖像権・音源等に関して必要な許諾を取得し、二次利用(YouTube 等)を前提とした権利処理を行う。
- 公共性・中立性の高い映像表現とする。

9. 審査基準と評価法

提出された提案書を以下の項目について評価し、総得点の最も高い提案書を委託先候補者とする。採点基準は、優以上＝3点、良＝2点、可以下＝1とし、最高得点は36点とする。また、委託先候補者が複数の場合は、新たな提案書を求める、あるいは面談を行い、最終委託先候補者を選定する。

(1) 企画力・独創性・訴求力

① メッセージの明確性:

- ・ 視聴者が AED 設置情報の重要性を理解し、AED 設置と登録、アプリをダウンロードするなど積極的な行動の大切さを理解する。

② 行動変容の促進:

- ・ 視聴者が AED 使用に対する心理的ハードルを下げ AED 訓練を受講する、あるいは心肺蘇生を「自分でも当たり前に行える」と蘇生訓練を受講するなど、個人的な行動変容を促すのみならず、「命を救う行動」に対する社会機運に変革をもたらすような内容である。

③ 独創性と訴求性:

- ・ 既存の啓発動画にはない、独自の視点や斬新なアイデアが盛り込まれ、視聴者の関心を強く惹きつけ、記憶に残るような魅力的な企画である。

④ 幅広い視聴層への訴求力:

- ・ 小中学生から高年層まで幅広い視聴層に共感や感動を与える演出が提案されている。

(2) 映像表現の親和性、公益性、正確性

① 映像表現の親和性:

- ・ 映像の構成、演出、ナレーション、字幕等が、親しみやすく自然なトーンであり、メッセージが効果的に伝わる。また、SNS 上でのシェア・視聴が促されるテンポ・構成(短尺編集や印象的な冒頭シーンなど)が考慮されている。
- ・ 企画の背景や意図が明確で、魅力的なストーリーである。
- ・ 映像の構成、映像表現、ナレーションなど、演出面の工夫がされている。
- ・ カメラワーク、音編集、音響効果など、技術的な面が優れている。

② ユニバーサルデザインへの配慮:

- ・ 字幕の挿入など視聴しやすい工夫が企画されている。

③ 情報提供の正確性:

- ・ AED の使用方法や心停止時の対応について、医学的・科学的に正確な情報が盛り込まれている。

④ 公益性と社会的配慮:

- ・ 公益財団法人の事業としてふさわしい、公序良俗に反しない表現である。
- ・ 命の尊さを真摯に伝える内容であり、不謹慎な表現や誤解を招くものは含まない。

(3) 費用対効果

① 企画達成に向けた体制と予算配分:

- ・ 応募者は、本業務を確実に遂行できる人員配置や、広報活動に十分な予算を割ける体制であることが明確に示されている。特に、広報チームの有無や、予算をどのように各業務(制作、広報、発送等)への割り当てが具体的に説明されている。

② 予算の妥当性:

- ・ 提案内容に対する価格が妥当である。
- ・ 提案内容に対し、予算配分が適切かつ透明性があり、各項目(企画立案から納品&活用まで)の内訳が明確である。
- ・ 費用対効果の観点から、提示された予算内で最大限の成果が見込める。

(4) 実現可能性

① 過去の実行実績:

- ・ 類似イベント、または過去の映像制作実績、SNSでの動画再生実績、広告戦略の成功事例など、具体的な広報・拡散に関する実績が提示され、その実績が本企画に反映されている。

② スケジュールと進行管理:

- ・ 契約締結日から令和8年(2026年)3月31日までの委託期間内に、すべての成果物(中間納品を含む)を納品するための現実的で具体的なスケジュール案が提示されている。
- ・ 進行管理体制が適切に示されている。

10. 契約スケジュール

項目	日程
公募開始	2025年7月17日
提案書作成期限	2025年8月15日
審査期間	2025年8月16日~2025年8月22日
結果通知	2025年8月25日~2025年8月29日
契約締結予定日	2025年9月12日
業務開始予定日	2025年9月16日

11. 問い合わせ先 および 提案書の提出先

日本AED財団 事務局 広報動画制作係

メールアドレス: josei@aed-zaidan.jp

補遺

動画制作にあたっての了解事項

動画制作にあたって了解しておくべき重要な諸事項を、重複する部分も少なくないが、改めて要約する。

1. 動画制作の目的

本動画は、「全国 AED 設置情報データベース／日本 AED マップ整備事業」の社会的意義を伝え、関係者および市民の協力と活用を促すことを目的とする。

主な目的は以下の通り：

① AED 設置情報の登録・更新の必要性を広く伝える

「設置して終わり」ではなく、「常に見える状態」で整備・公開することの重要性を周知する。

② 日本 AED マップの活用を促す

緊急時に AED を探せる仕組みとして、国民にとって価値のある情報基盤であることを訴求する。

既存の各種 AED マップを統合することで、“オールジャパンの AED マップ”が実現する全国的な連携プロジェクトであることを強調する。

③ AED 設置管理者の意識・行動を変える

データベースへの登録・情報更新を「自分たちの役割」として捉えてもらい、実際の行動へとつなげる。

④ AED 設置管理者・自治体・消防・市民の連携を後押しする

「登録する人」「使う人」「支える人」の協力によって命を守る仕組みが成り立つことを可視化する。

⑤ 助成事業としての成果と展望を伝える

全国規模の取り組みであることを明示し、社会的信頼性を担保する。

2. 制作方針

本動画は、全国 AED 設置情報データベース／日本 AED マップ整備事業の広報を目的とし AED 設置情報の登録・整備・公開の重要性を、視聴者にわかりやすく伝える啓発コンテンツとする。

映像を通じて、AED 設置管理者・自治体職員・市民それぞれが「自分ごと」として AED 情報の整備に関心を持ち、登録・活用・連携に参加したくなるような内容とすることを制作の基本方針とする。

【主な表現方針】

- 専門用語を避け、中学生以上であれば理解できる平易な構成・ナレーションとする
- 視聴者の関心を引き、最後まで視聴されるテンポと演出を意識する

- AED の重要性、マップ統合による「オールジャパン」体制の意義を、視覚的・感情的に伝える
- 視聴後の行動変容(登録・確認・活用)につながる構成とする
- 公共性・中立性・科学的正確性の高い情報をもとに制作する
- SNS や公共機関での活用を前提とした汎用性のある形式とする

3. 主な視聴対象

本動画の主な視聴対象は、以下の 4 層を想定する。

① AED の設置・管理を担う組織・担当者

- 公共施設、商業施設、医療・教育機関、交通機関などの AED 設置責任者
- 設置後の維持管理や登録を担当する現場スタッフ

② 一般市民(特に AED や救命に関心のある層)

- 家族や職場の安全を意識する生活者
- 防災意識の高い地域住民
- 応急手当講習の受講経験者やボランティア活動に関わる人々

③ 救急・医療関係者

4. 規格・仕様

制作する動画の技術的・形式的仕様は、以下のとおりとする。

(1) 映像仕様

- 画質:フルハイビジョン(1920×1080px)
- アスペクト比:16:9
- ファイル形式:MP4 形式
- 音声:ナレーション・BGM・効果音を適宜使用し、全体として聞き取りやすく構成する
- 字幕:日本語字幕を付与する(視聴者のアクセシビリティに配慮)
- その他:必要に応じてモーショングラフィックス、図解、地図表示等を用いて視覚的な補足を行う

(2) 言語

- 日本語(※必要に応じて英語字幕版の作成も別途協議)

(3) 制作形式

- 撮影機材:ハイビジョン対応のカメラおよびレンズを使用
- 編集環境:業務用編集ソフトを用い、映像と音声の品質を確保
- ナレーション:プロによるナレーション録音を推奨(専門用語の正確な発音に留意)

(4) 字幕・著作権

- 字幕は発注者の確認を経て確定する
- 映像内で使用するすべての素材(写真・動画・音楽・イラスト等)は著作権処理済みである
- 肖像権・パブリシティ権についても、事前に権利処理を行う

5. 中間納品に関する要件(放映対応)

本業務の委託期間は、契約締結日から 2026 年 3 月 31 日までとする。

- 2025 年 8 月 23 日(土)開催予定のイベントにて、動画 1 本がイメージできる画像を提出する。間に合わない場合は、要相談。
- 残りの成果物(完成版含む)は、2025 年 12 月末までに全て納品完了とする。
- 支払い条件: 2026 年 3 月末の業務完了報告をもって、発注者の指定する期日(翌々月末を目安とする)に一括で支払う。

6. 制作に当たっての基本的考え方

本業務における受託者の選定は、公募型企画コンペ方式(プロポーザル方式)により実施する。制作にあたっては、以下の基本方針に則り、発注者および本事業委員会と適切に連携しながら、公共性と完成度の高い成果物を目指す。

(1) 協議・修正の柔軟な対応

- 受託者は、発注者および本事業委員会と密に連携を図り、構成案(コンテ)段階でのプレゼンテーションおよび修正作業に適切に対応する。
- 医学的・制度的観点からの指摘があった場合には、専門家の監修を受けて内容を修正する。

(2) 公共性・社会的意義の反映

- 映像コンテンツは、広く一般市民や関係機関に対して啓発・周知を目的とした公共的なものとする。
- 偏りのない表現と、科学的・制度的に正確な内容を担保する。

(3) 視聴者の理解と行動変容の促進

- 誰にでも理解できる明快な構成とし、視聴後に「自分も登録しよう」「AED の場所を確認しよう」など、行動を促す内容を目指す。
- グラフィック、ナレーション、図解などを活用し、視覚的・聴覚的な分かりやすさを重視する。

7. 制作条件

本業務の遂行にあたり、以下の制作条件を遵守すること。

(1) 全体進行に関する条件

- 受託者は、発注者および本事業委員会と協議のうえ、構成台本・ナレーション原稿・コンテを作成する。
- コンテ完成後、委員会にてプレゼンテーションを実施し、指摘内容を反映した修正対応を行う。
- 制作工程および納品日程については、発注者と協議のうえ決定し、事前に工程表を提出する。

(2) 撮影に関する条件

- 撮影に使用する機材は、ハイビジョン対応のカメラ・レンズを基本とする。
- ロケーション撮影を行う場合は、必要な撮影許可・調整を受託者が責任を持って実施する。
- 原則として、ディレクター・カメラマン・音声・照明などを配置し、撮影体制を整える(※兼務可)。

(3) 編集に関する条件

- 編集は、粗編集→本編集→ナレーション録音→最終編集のプロセスを踏み、各段階で発注者の承認を得る。
- 映像・字幕・ナレーション・BGM のいずれも、正確かつ視認性・聴取性の高い仕上がりとする。

(4) 納品に関する条件

- 撮影したすべての映像素材(白素材)をデータ形式で発注者へ提供する。
- 完成映像データに加え、バックアップデータ 1 式を納品する。
- サムネイル画像など、SNS 活用を想定した静止画素材も併せて提出する。

(5) 著作権・法的処理等

- 本業務で制作された映像および素材に関する著作権は発注者に帰属するものとする。
- 二次使用(YouTube 掲載、講習・研修等での使用)を前提とし、肖像権・著作権・音源使用等の権利処理は受託者が責任を持って行う。
- 受託者が保有する過去の映像・画像素材等を使用する場合も、発注者の同意と著作権処理の完了が必須とする。
- 出演契約等は買い切り契約とする。また、受託者は、本業務において制作または撮影した素材等を、弊財団の事前承諾なしに、他のコンテスト・企画・公募等へ転用・応募してはならないこととする。

(6) 修正・不具合への対応

- 委託期間中はもとより、納品後に誤字・情報誤り等が判明した場合には、受託者の責任と費用により速やかに修正対応を行う。

以上